

生活基盤施設耐震化等事業 事後評価書

計画の名称	老朽管更新事業									
計画の期間	平成21年度～平成27年度			交付対象	防府市					
計画の目標	老朽管路の更新により管路の耐震化を推し進め、安定したライフラインの構築を図る。									
計画の成果目標（定量的指標）	管路の耐震適合率の向上（H21年度末：5.7% → H27年度末：17.6%）									
定量的指標の定義及び算定式	耐震適合率（%）：耐震適合性のある管路／管路総延長			定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H21年度当初)	中間目標値 (H 年度末)	最終目標値 (H27年度末)				
				5.7	—	17.6				
全体事業費 (A+B+C)	999,625 千円	A	999,625 千円	B	千円	C	千円			
全体交付額 (A+B+C)	111,194 千円	A	111,194 千円	B	千円	C	千円			
事後評価										
1. 交付対象事業の進捗状況										
老朽管更新事業	計画期間：H21～H27									
事業主体 (水道事業者)	実施箇所 (市町村)	事業内容			事業実施期間（年度）			事業費 (千円)	進捗状況	備考
			H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
防府市	防府市	老朽管更新に伴う耐震管の整備						999,625 千円	完了	
								合計	999,625 千円	
2. 事業効果の発現状況、評価指標の実現状況										
I 事業効果の発現状況		本事業により耐震管の整備を行ったことで、強靱なライフラインが構築された。また、施工管路の物理的耐用年数が飛躍的に向上し、将来の施設更新におけるコストの縮減も可能となった。								
II 評価指標の実現状況		指標① 耐震適合率（%）	目標値	17.6	目標値と実績値に差が出た要因		関連工事等の影響により管路延長に差異が生じたため。			
			実績値	17.3						
III 評価指標以外の事業に効果の発現状況 (必要に応じて)		—								
3. 今後の対応方針										
今後も老朽管のみならず施設についても、経済的かつ効率的に耐震化整備を実施する。また、災害時において拠点となる重要給水拠点に至る配水管整備も進めることで、災害に強いライフラインの構築を図る。										